

丹後市民局

ルックルック!

NEWS

新しいことをやってみよう

令和2年1月5日から新しく完成した間人漁港衛生管理型荷捌所での競りが行われているほか、地域づくりでも新しい取り組みがスタートしています。



新 間人地方卸市場

丹後町な場所*間人漁港衛生管理型荷捌所*

今回の場所は、1月から新しく始動している「間人漁港衛生管理型荷捌所」です。この日も間人ガニ・バイ貝・カレイ・タラなどが並んでいました。前の市場も歴史をととても感じ好きだったのですが、令和2年の始まりと共にまた新たな場所のスタートです！（地域おこし協力隊 大木史帆）

丹後町の人口		
	R1.11月末前月比	
0~14歳	455	-5
15~64歳	2,489	9
65歳~	2,167	4
計	5,111	8

丹後町内の元気やおめでたい情報をお届けする

Tango 元気 news

丹後町絵本読みきかせボランティアの会

約20人で活動されており、主に第2土曜日に成願寺区民センター、丹後庁舎、尾和公民館で、また第3水曜日に宇川アクティブライフハウスで読み聞かせを行ってられるほか、地域の催しでも活躍されています。大型紙芝居やペーパーサートなど自作の作品で子どもから大人まで楽しい時間を演出されています。老若男女、一緒に活動してくれる方、連携してくれる方を募集中！

[問合せ]丹後図書室(Tel.69-0664)



令和元年12月に行われたペーパーサート



手作りの大型紙芝居

豊栄まちづくり委員会

将来、豊栄がどんな地域であればよいかを考え活性化に取り組むことを目的に、令和元年から活動を開始されました。現在、豊栄連合区と連携し、3回シリーズのまちづくりセミナー「豊栄のみかた」を計画されています。

第3回は、2月11日(日)午後1時から旧豊栄小学校で開催されます。内容は、佛教大学の学生たちによる活性化策の提案と意見交換です。ぜひご参加ください！



11月には佛教大学の学生と一緒に着物ファッションショーを企画



Facebookページで情報を発信されています



第2回「豊栄のみかた」の告知チラシ(1/13に開催)

Tango 元気 news の掲載団体を大募集!

スポーツ、文化芸術、サークル活動など、皆さんに広く知ってほしいニュースがある団体や個人を募集します。掲載を希望される方は、丹後市民局までご連絡をお願いします。

【連絡先】京丹後市長公室丹後市民局(Tel.0772-69-0714)

※誌面の都合上、全ての希望に沿うことはできません。ご了承ください。

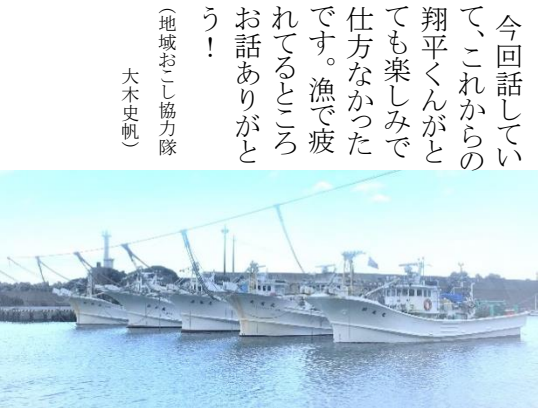
丹後町な人、丹後町な場所

地域おこし協力隊で丹後町担当の大木史帆が、丹後町の魅力的な人や場所を紹介するコーナー（文字及び写真：大木史帆）



丹後町な人 *新田翔平さん*
 今回の丹後町な人は「新田翔平」さんです。翔平さんの祖父の佐々木新一郎さんは海運丸の船主をされています。佐々木さんの弟さんが船長を30年務められました。昨年亡くなられたことにより、佐々木さんは孫の翔平くんが白羽の矢をたてました。大学4年生で今年卒業を控えた翔平くんは「やりたい事がなかったのでやりました」と、二つ返事したそうです。
 しかし、誰もが二つ返事出来るような仕事ではなく、乗組員さんの命と生活を背負うわけですから、相当な決意や覚悟

がいたる仕事です。何故、やりたい事がなかったとはいえ、二つ返事ができたのか、翔平くんとはどんな人物なのか、とても気になり話を進めました。
 翔平さんは小さな頃からお母さんの親元である、間人によく遊びに来ていたみたいです。中学の頃までは、長期の休みになると丹後に滞在し、祖父の手伝いをしてお小遣いをもらうのがうれしく、海での手伝いを楽しんでやっていたそうです。都会での暮らしではできないような体験を、ここの間人で、翔平くんは体と頭を使って学んできた、数々の積み重ねが、二つ返事に繋がっているのではないかと話して感じていました。本人も「祖父に教わったことで、出来なかったことはなかった」と、「おおく凄い！」と私が言うのと、付け足すように「やればできるでしょう！」と、その言葉の裏には、「出来るようになるまでやってきましたから」と聞こえました。いろいろなプレッシャーを感じながらも、祖父から学んだことや間人の体験が、体



※今回の丹後町な場所は前面に掲載しています

丹後町内の地域の動きやトピックスをお届けする

Tango 地域 news



豊栄の見方？味方？
 12月22日(日)、旧豊栄小学校で、第1回まちづくりセミナー「豊栄のみかた」が開催され、25人が参加しました。この取り組みは、豊栄まちづくり委員会（共催：豊栄連合区）が豊栄の将来を考えるきっかけづくりを目的に、3回シリーズで計画されているもので、第1回目は、宇川加工所の山口さんと増田さんを講師に迎え、元気な宇川の原動力と題してお話をいただきました。第2回は1月13日、第3回は2月11日に計画されています。

ポイント(講演より)

- できることからやってみる、形にすることが大切
- 人が集い、話をする場をつくれば自然発生的に地域に必要な取り組みが生まれていく



約20人が参加しました

新しいコミュニティの可能性とは…
 12月17日(火)、宇川連合区長会が計画し、岡山市の加茂地区住民自治協議会への視察研修を行いました。小規模多機能自治の先進的な取り組みを学ぶことを目的に実施されたもので、講師の話聞きながら、宇川地域にどう生かすことが出来るか視察研修で検討を深めました。



ポイント(視察より)

- 区だけでは解決できないこと、連合区でも取り組めないことを協議会で事業化
- 5つの区で協議会を設立、4つの部会を設けている。部会間の情報共有、部会の自発性を大事にしている。

子供も、大人も、一緒に体験

12月は、年末を迎えるにあたり、各地区公民館が主催し、餅つきやしめ縄づくりの体験が実施されました。8日(日)にはしゅうど荘伝習館で、22日(日)には宇川アクティブライフハウスでもちつきが行われました。宇川ではしめ縄づくり体験も行われ、子供から大人まで楽しみながら流を深めました。



に染み渡っており、自信に満ち溢れている感じが伝わってきました。昨年からは船長デビューしており、大学に通いながらの二足の草鞋はハード。全然寝れない時もあるみたいで「もうやめたいです」と言っていました。そうゆう所は大学生らしく、今の一番の好きな場所はベットの上下です。今は、早く船長の仕事になれ、ちゃんと結果をだし、海運丸での成績を上げる事を目標にしているそうです。

今回話している、これからの翔平くんがとても楽しそうで仕方なかったです。漁で疲れているところお話ありがとうございます！

(地域おこし協力隊 大木史帆)